

いしづえ

2020年6月
新年度号

発行:社会福祉法人
バプテストめぐみ会
理事長:上田 正紀

79

CONTENTS

巻頭言	1	北白川いずみ保育園便り	6
2020年度 事業計画書	2～3	配食サービス事業について	7
バプテスト・ホーム便り	4～5	新人職員紹介、寄付金のご報告、編集後記	8

巻頭言

“試練の時代”

理事長 上田正紀



国際通貨基金(IMF)のゲオルギエバ専務理事は、中国湖北省武漢市で最初に深刻化した新型コロナウイルス感染症拡大により、2020年の世界経済は1929年に発生した世界大恐慌以来最悪の不景気に陥る「未曾有の危機」に直面しているとの見解を示した。今後、医療崩壊、世界大不況に陥らないように切に祈るばかりです。

思えば、有史以来ペスト、天然痘、スペイン風邪、新型コロナウイルスとウイルスは一定の期間において人類を脅かすことを改めて認識させられる出来事です。この感染症が一日も早く終息することを皆様とともに祈りたいと思います。

その為にも、感染のリスクが高まる人と人との接触の機会を可能な限り減らすこと、そしてマスク着用・手洗い・

うがいの励行・対面の食事は避ける等の新しい生活様式を日常生活の中に定着させ、ウイルスと共存することを必要とする社会変革が求められていると思います。

非常に厳しい社会環境の中ですが、キリストが与えられたこの素晴らしい京都一の環境の地「大文字が目前」で、役員・職員共に一体となってバプテストめぐみ会の社会福祉事業内容を計画します(次頁の事業計画をご覧ください)。皆様のより一層のご支援をよろしくお願い致します。

「私は世の光です。わたしについて来る者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです」キリストのことば より(聖書 ヨハネ8章12)



2020年度 事業計画書 (抜粋)

まえがき

2020年度は新組織体制に法人の大原則である不変のキリスト教主義を基本理念とし、安心・安全第一とコンプライアンス（法令遵守）を徹底します。法人の経営方針の一つである「報告」「連絡」と「相談」（ハウレン／ソウ）を中心に方針を実行し安定した事業経営を目指します。

2019年度は、バプテスト・ホームの全面建て替え（13年後の創立50周年目標）に向けて土台をしっかりと創りあげる第一歩の年度でした。結果は、5月の決算後に事業報告します。事業は、その時代の流れに適した決断をすることが重要になります。社会保障費の財源が厳しい状況の時代では事業拡大を目指す時ではないと思います。むしろ、ダウンサイジング（事業規模の縮小）も考えなければ事業の継続が難しい時代です。「バプテスト」を信頼してご利用される多くの方々のために、英断を実行する勇気を持ち、確実な資料に基づいて協議し、思い切った経営方針を実行する必要があります。

介護施設の人手不足が、利用者の受け入れにも影響を及ぼしています。当法人も2019年度末をもってホームヘルプサービス事業を人材不足が主原因で廃止いたしました。独立行政法人「福祉医療機構」の2019年3月から5月の特別養護老人ホーム853施設の調査の結果、介護職員が「不足している」と回答した施設は72.9%で、1施設あたり平均3.8人不足していたという報告が出ています。今後も人材不足は全国的に続くと思われます。その中でハローワーク、福祉人材研修センター、関連学校、インターネット等募集活動を確実に実行することは当然必要ではありますが、まず大切なことは現在働いている職員の退職防止です。退職の大きな原因は、給与等の待遇問題ではなく職場内の人間関係です。職員の働くことに関するモチベーションがアップする指導、教育が最も重要になります。

介護職員が働き続けるメリットを感じられるように、まずスキルアップができる環境を整え、将来に安心感が持てる施設にならなければならないと思います。

一方、保育園においては、小規模保育園の増加、認定こども園を視野に入れた改修・定員増の園も多くなり、少子化と合わせて園児の獲得競争も厳しくなる傾向にあるので、園児の動向に注目しつつ運営体制を考える必要があります。幼児教育を無償化する子ども子育て支援法も実行されています。様々な法改正に対応できる柔軟な体制が必要になります。運営管理の面では、就業規則・給与規程等の諸規則について、社会福祉法人バプテストめぐみ会として高齢者福祉総合施設との統一化を法人事務局で今後検討することが必要になります。

高齢者福祉総合施設は「冬の時代」の中で、児童福祉施設も厳しい不透明な状況下でも、基本理念のキリスト教主義及び経営方針（1から6、具体的には1から3の実行）を不変とし、変革時代にしっかり対応できる経営基盤の強化を図り、提供するサービスの質の向上を図ると同時に地域社会のニーズに対するサービスを提供できる社会福祉法人経営を実行します。

社会福祉法人 バプテストめぐみ会 理念

わたしたちは、イエス・キリストの愛の実現を願って高齢者福祉に取り組みます。

一、利用される方々の尊厳を守り、人権を尊重し畏敬の念をもって福祉サービスの向上に努めます。

一、利用される方々に寄り添いその人らしい人生の実現を求めて、共に生きることが日々目指します。

一、地域と連携して高齢者とそのご家族の生活を支え、社会から信頼される福祉の拠点となるように努めます。

設立標語聖句

「夕暮れになっても、光がある」（ゼガリヤ書 14章7節）

接遇標語聖句

「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい」（ローマ人への手紙 12章15節）

社会福祉法人 バプテストめぐみ会 経営方針

1. 地域の福祉施設として、十分なサービスを積極的に提供し、地域福祉の充実発展に貢献する。
2. 職員の資質向上を図り（職員研修の促進）提供するサービスの質の向上に努める。
3. 「報告」「連絡」と「相談」（ハウレン／ソウ）を実行し働きがいのある職場を実現する。
4. 健全かつ活力のある継続した事業経営のために財務基盤の安定を図る。
5. 行政・福祉施設・医療施設との連携、協力を強化し、高齢者福祉の充実発展に寄与する。
6. 情報を公開し、透明性の高い公平・公正な法人経営を目指す。

特別養護老人ホーム バプテスト・ホーム 運営方針

団塊の世代が75才になる2025年を目途に、重介護であっても地域で暮らし続けていくための地域包括ケアが掲げられています。

地域に根差した施設であることを目指し、地域の一員として「認知症であっても最期まで自分らしく暮らしていくための支援、高齢者の最期まで口から食べたいと思う欲求に応えていくための支援」、この2つを柱に施設運営を行っていきます。

I バプテストめぐみ会 長期計画

1. 高齢者福祉総合事業
特別養護老人ホーム 創立50周年（2033年）全面建て替えを目指す。
介護保険制度の動向を見極め、地域福祉サービスの充実・財務状態を健全にし、新たな事業を展開する。
2. 北白川いずみ保育園
特別養護老人ホームと同時期の建て替えを目標に検討し、資金の積み立てを行う。
定員以上の園児在籍を保ち、保育のための優秀な人員を揃える。

II バプテストめぐみ会 中期計画（2～3年間）

1. 高齢者福祉総合事業
 - ・2016年度バプテスト・ホーム改修工事が無事完了し、長期計画を実現するために、人事及び財務の経営管理の再構築を行う。
 - ・きょうと福祉人材育成認証制度の上位認証制度取得に向け、キャリアパス・人事考課制度の導入を目指し人材育成・研修体制の強化を図り新しい組織管理体制の構築を行う。
 - ・法人の広報機能の強化のため、ホームページにおける法人の取組報告や、施設の様子、職員の活躍の様子など、法人情報を積極的に公開。本法人の運営する施設の利用を検討される方やすでに利用されている方のご家族、地域住民、更には求職者にも、本法人のことを多くの人に知ってもらうように定期的な情報を発信する。
 - ・採用後の研修プログラムを的確に実行し、何でも相談・質問できる担当者制度を導入し、一人にしない環境づくりを実現する。また、健康診断やメンタルケアを計画的に実施し、職員が体調不良やメンタル不良により退職、休職することの無いよう職員を護る取組も随時行う。
 - ・地域社会への貢献のため、多様な地域の各種団体や住民との連携協力を図るとともに、また法人、事業所、職員が持つスキル等を積極的に地域に還元する。情報公開等を通じて事業の透明性を図る。

2. 北白川いずみ保育園
- ・開設から40年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。園児の安全を第一とし計画的に修理を行っていく。
 - ・長期計画を実現するために建築資金を積み立てる。
 - ・人材の確保や育成に努め、働き続ける意欲の持てる職場環境を目指す。
 - ・少子化の進む中、保護者から選ばれる保育園となるように今まで培ってきた保育や食育等いずみ保育園の特色をPRする。

- (5)地域との交流
- ①地域ボランティアの積極的な受け入れ。
 - ②地域行事への参加及び協力。
 - ③実習生の受入れ。
3. 居宅介護支援事業所
- (1)目標稼働率
1ヶ月平均担当件数 37件を目標に、新規ケースを受けていく。
- (2)資質向上
- ①法令遵守
 - ②利用者の主体性を尊重し、利用者及び家族などの参加・意志の表明そして自己決定を促し、そのニーズに対応できるよう研修に主体的に受講する。
- (3)適正な運営
- ①特定事業所としての配置体制の確保。
 - ②特定事業所集中減算がないように、公正中立の立場を踏まえて対応。
 - ③ケアプランの依頼相談に対して可能な限り対応する。
- (4)専門性を育み、活かせる職場創り
- ①人材は大切な宝であると同時に、スタッフ個々人の所有する能力を最大限に発揮できる環境を重視し、事業を展開します。実習生の受け入れや、所内勉強会での指導や講師を担い、指導力や説明力を養う。
 - ②安定した支援活動を行う為に、チームケアを実践。スタッフ間で課題を共有し、解決方法を幅広い視点で検討。必要に応じて複数名での対応を行う。
- (5)地域ネットワーク構築
- ①地域包括支援センターとの連携・協力。
 - ②高齢支援の拠点として住民が安心して相談できる事業所を目指す。
 - ③バプテストめぐみ会の一員としての自覚を持ち、他部署との連絡を行う。

Ⅲ 2020年度計画

高齢者福祉事業

【特別養護老人ホーム】

1. 目標稼働数（定員80名）
長期入所 1日平均76.5人（短期入所8.5人 合計85.0人）
2. 空床発生時の対応
 - (1)特養優先入所待機者を常に3～5名確保し、空床が発生すれば速やかに入所手続を行い、14日を目標に新規受け入れを行う。
 - (2)入所までに時間がかからないよう、入所判定会議を随時開催する。
 - (3)空床発生時には、臨機応変に短期入所として活用する。
3. 職員のレベルアップ・チームワーク
 - (1)介護技術を含め、介護に関する勉強会実施、認知症・高齢者虐待予防・尊厳保持・看取りケア等の内部研修の実施。
 - (2)入浴、食事、排泄について個々の状態を把握し、その方にあったケアを提供する。
4. 入所者生活の質向上
 - (1)ご利用者が望む生活の実現へ向けての取組み。
 - (2)認知症であっても自分らしく過ごすため、生活を支えるケアを実践する。
 - (3)最期まで口から食べることができるための取組み。
 - (4)施設内の看取り介護への取組み。
5. 地域との連携
 - (1)ご利用者が地域の行事へ参加できるように支援する。
 - (2)同法人保育園との交流。
 - (3)地域ボランティアの受入。
6. 情報発信
 - (1)施設での取組、利用者の生活の様子や職員についてなど、広報誌やホームページを用いて広報していく。
 - (2)ホームページにて施設での取組等を就職活動者向けの情報として掲載し、求人活動につなげていく。

【在宅事業部門】

1. 短期入所生活介護（定員6名）
目標稼働数 1日平均利用者数 8.5人
 - (1)利用登録者を増やし、キャンセル発生時に即対応につなげ、空床をつくらない。地域の居宅介護支援事業所に営業・広報活動を積極的に行う。
 - (2)緊急にサービスが必要と判断される場合は、迅速な対応を行う。
2. 通所介護
 - (1)目標利用人数
1日平均利用者数 修学院デイ 25.0人・粟田デイ 31.0人・高野デイ 29.0人
利用者登録 90～100名
 - (2)新規利用者の獲得
体験利用から新規利用へと繋げる事が出来るように、居宅介護支援事業所への営業・広報活動を積極的に行う。
 - (3)人材育成
 - ①経験年数に応じた資格取得の支援。
 - ②外部研修の受講。
 - (4)サービスの向上
 - ①ご利用者の意向及び趣味を考慮しつつ、生活に張り合いを見出すためのアクティビティの実施。
 - ②事業所の機能に応じたサービスや加算、提供時間の見直し。

4. 地域包括支援センター
京都市の介護・福祉・保健の一翼を担う公的な機関として、公正中立な事業運営を行う。担当圏域の地域実情や特性を踏まえた適切かつ柔軟な事業運営を行うと共に、地域が抱える課題を把握し、解決に向けて地域住民や関係団体と協力・連携を行う。地域の高齢者人口や高齢化率、要介護認定の状況等から地域の課題に対する予防的観点から、高齢者が自立した日常生活を送るため適切なケアマネジメントを実施し介護予防の取り組みを行う。
5. 配食サービス
京都市からの委託事業として実施し、京都市配食サービス実施要綱に基づき、適切な運営に努める。
 - (1)栄養バランスのとれた食事の配達による提供。
 - (2)安否確認。
 - (3)訪問時ご利用者の様子や変化に気を配る。

バプテストめぐみ会 役員・評議員（2020年6月1日）

理事		評議員	
理事長	上田 正紀	評議員	平田 哲
副理事長	矢島 直子	評議員	津舟 光子
理事	瀬戸 達雄	評議員	木村 明祐
理事	李 海勲	評議員	船本 智睦
理事	山下 禎雄	評議員	溝渕 美音
理事	上野 浩二	評議員	叶 信治
		評議員	吉田 三穂
監事			
監事	南 寛		
監事	藤井 茂		

バプテスト・ホーム便り

特別養護老人ホーム バプテスト・ホーム
施設管理マネジャー 畠山かず恵

こんにちは！バプテスト・ホームです！

ホーム入所のご家族の皆様におかれましては、面会制限が継続されており、ご心配をおかけしております。何とかこの新型コロナウイルスが終息して、皆様の笑顔と安心を利用者さまにお届けできる日が早く来ることを職員一同心待ちにしております。

コロナウイルスに負けず、ホームの皆さんは元気いっぱい！

ホーム内で何とか楽しんでいただけるように、職員も工夫を凝らし、3密に気を付け、消毒・換気に日夜奮闘し、小規模ながらもイベントを企画いたしました。



お寿司



おはぎ



お茶会



兜づくり



お誕生日 おめでとうございます。

母の日

この幸せな笑顔を守るべく、これからも職員一同、万全を期して感染対策に取り組んでまいります。

北白川いずみ保育園便り

園長 矢島直子



さわやかな風の吹く季節となり、保育園の屋上では元気にこのぼりが泳いでいます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、京都市内の児童福祉施設でも緊急の取り組みがされ、保育園等の受け入れ条件の厳格化が実施されています。北白川いずみ保育園でも原則として就労のため、職場への出勤が必要な方、出産や障害、介護等の福祉的配慮が必要な方以外のご家庭には在宅勤務等の方も含めて家庭での保育をお願いしています。ご協力いただいているおかげで、20～30人くらいの子ども達といつもより少ない職員とでなるべく密にならないように気を付けながら保育をしています。ご負担をおかけしているご家庭には本当に感謝しています。

登園している子ども達は、公園や住宅街へは散歩に行けない状況の中ですが、お山や谷川が身近にあり、短時間でも散歩に出かけられることはありがたいです。早く、日常の生活に戻れて、みんなに会いたいなぁと待ち望んでいます。



配食サービス事業について

特別養護老人ホーム バプテスト・ホーム
管理栄養士 久保田佳代子

バプテスト・ホームでは、京都市より委託を受けて昼食の配食サービス事業を実施しています。
管理栄養士が献立したお弁当を、玄関先まで心を込めてお届けいたします。

※京都市配食サービス事業

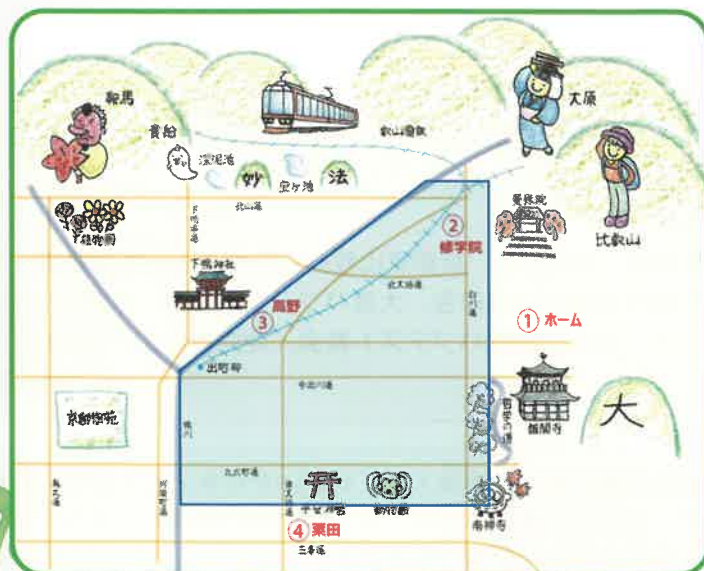
要支援認定以上を受けられた60歳以上の方を対象に昼食をご自宅へお届けし、お渡しする際に安否確認を行うことで高齢者の生活の維持及び福祉の増進を図る事業

管理栄養士が考えるお弁当だから

- ・栄養バランスが良く、減塩や低脂質、低エネルギーといった療養食に準じた献立も対応できます。
 - ・ご利用される方に合わせた食事形態を提供します。
主食：全粥・軟飯、副食：刻み・一口等
 - ・季節を感じられる献立です。
- さらに、
- ・生活リズムを整えるためほぼ決まった時間に訪問いたします。
 - ・対面して手渡しし、元気なお姿を確認しています。



配達範囲



新人職員紹介

(事業所別・入職順) 『』内は大切にしている言葉



おかだ ともき
岡田 朋樹
バプテスト・ホーム

今まで介護の仕事に関わったことがなく、初めての事ばかりでとまどう事も多いですが、他の職員の方々に助けていただきながら頑張っていきたいと思えます。

『悩むと止まる。まず動く』



おかざき ゆき
岡崎 由紀
バプテスト・ホーム

1月よりバプテスト・ホーム2棟に入職致しました。勤務の日はご利用者様、職員の方々に会えるのが楽しみでうきうきしながら通っています。沢山の事を学びお役に立てるよう努めてまいります。

『違いを 楽しみ 味わう』



ささきまさひと
佐々木将人
バプテスト・ホーム

3月より、バプテスト・ホーム3棟でお世話になっております。様々な現場でご入居者様と過ごしてきた経験を生かし、又、新たに出会ったご入居者様が、ここでの生活に満足していただける様に、他のスタッフと連携し“最高”のケアが出来ればと考えています。よろしくお願ひいたします。

『悩む!!~新しいものを追求し実践していく~』



いわもと きょうみ
岩本 京美
バプテスト・ホーム

3月よりバプテスト・ホーム2棟に入職しました。今までの経験を活かしつつ、また、新しいことを吸収し、日々、成長出来るように、毎日ががんばっていきたく思います。よろしくお願ひいたします。



いしだ ちはき
石田 千晶
バプテスト・ホーム

4月から3棟でお世話になっております。働くということ自体が初めてです。ご迷惑をおかけしてしまうと思いますが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

『助け合い』



おくむらま ゆこ
奥村麻由子
バプテスト・ホーム

4月より常勤としてバプテスト・ホーム1棟でお世話になっております。いつも笑顔といつも元気を心がけて毎日過ごしています。先輩方やご利用者様に信頼して頂ける様頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

『いつも笑顔と いつも元気』



すぎもと まり
杉本 麻理
粟田デイサービスセンター

3月より非常勤CWとしてお世話になっております。介護の仕事は初めてで、日々勉強させて頂いています。ご利用者様のお心に添えるよう努めてまいります。よろしくお願ひいたします。

『素直・謙虚・感謝』



おかの ゆうすけ
岡野 祐介
粟田デイサービスセンター

4月より、CWとして入職致しました。一日一日を大切に、笑顔で頑張ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

『実直』



もりともき みこ
森本貴美子
粟田地域包括支援センター

4月より粟田地域包括支援センターに勤務させて頂いています。東山区は世界文化遺産や史跡、名勝など歴史を経た美しい街並みや自然があります。周りの方々に教えて頂きながら、この地域をよりよく知り、地域の一員となれるよう、より多くの人と関わりを持てることを楽しみに、頑張っていきたいと思えます。

『鳥の目、虫の目、魚の目』



よしだ なおこ
吉田 尚子
高野デイサービスセンター

3月より高野デイサービスにてCWとして勤務させて頂いております。慣れないこともありますが、他のスタッフに助けて頂きながら頑張っています。よろしくお願ひ致します。

『笑顔』

寄付金のご報告 (2020年1月17日~2020年3月31日)

ご支援、ご協力を賜り、ありがとうございます。感謝いたします。

※確定申告を行うことで、当法人へ寄付をされた個人は寄付金控除の対象となり、法人は損金算入ができません。確定申告には領収書が必要となりますので大切に保存してください。

【団体等】

日本バプテスト小倉キリスト教会、同志社中学校・高等学校、京都東山教会、宗教法人日本基督教団 京都復興教会、川崎バプテスト教会、日本キリスト教団京都丸太町教会、大泉バプテスト教会、宗教法人平尾バプテスト教会、奈良キリスト教会、東京北キリスト教会、宝塚バプテスト教会、北白川いずみ保育園バザー一部会
(順不同、敬称略)

編集後記

新型コロナウイルス緊急事態宣言下、当法人をご心配いただき、ご支援賜りまして誠にありがとうございます。粟田女性会様はじめ、数々の地域の皆様よりマスクや消毒液のご寄贈をいただきましたこと心より感謝申し上げます。

緊急事態宣言が解除となり、少し心が明るくなりますが、今後に向け引き続き予防対策等油断できない状況です。

どうぞ皆さま、くれぐれもお気を付けくださいますように。

(法人事務局)